

令和5年度 筑波技術大学公開講座

まずはここから、聴覚障害学生支援一見て学ぶ、触って知る情報保障のあれこれ

実施要項

講座の目的 大学の責務として聴覚障害学生に適切な合理的配慮の提供を行なうためには、さまざまな合理的配慮の選択肢をまず大学教職員が知っておく必要がある。多様な手段を正しく理解し、状況に応じて適切に導入することができれば、聴覚障害学生の修学環境はより改善されると思われる。

そこで本講座は、障害学生支援を担当する大学教職員を対象に、遠隔情報保障システム(T-TAC Caption/captiOnline)や音声認識アプリを用いた文字提示などの新たな情報保障技術をはじめ、従来から広く活用されているパソコンノートテイク(IPtalk)や手書きノートテイク、手話通訳、補聴援助システムといった、さまざまな情報保障手段について、それぞれの特徴や活用場面について学ぶことを目的とする。また、利用者の視点に立った評価の体験や支援者養成時の指導ポイントにも触れ、合理的配慮の選択・提供において重要な視点についても学ぶことができる講座とする。

実施日 令和6年2月7日(水)13:00~16:30 (1日間・計3.5時間)

実施場所 Zoom(リアルタイム配信のみ。アーカイブ配信無し)

募集人員 50名

受講資格 ・大学等に勤務する教職員

・聴覚特別支援学校等および小中学校・高等学校の難聴学級や通級指導教室で、聴覚障害児童・生徒の自立活動や進路指導に携わる教職員の方

・大学の情報保障者養成講座等で指導を担当している方

講習料 3000円(振込方法等については申し込み者にお知らせします)

講習内容 次頁のとおり

講師 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター

白澤麻弓、磯田恭子、中島亜紀子、萩原彩子、吉田未来、岡田雄佑

申し込み 下記申し込みフォームから。(申込・振込期間:1月9日(火)~1月31日(水))

https://truowrqhgfnfoa.qualtrics.com/jfe/form/SV_1Zf24Ap9V2z0iTc

その他 文字通訳・手話通訳あり。その他必要な配慮は申込時に申請ください。

日程及び講習内容

日	時	講 習 内 容	講 師
2月7日 (水)	13:00 ～ 13:50	●聴覚障害学生への合理的配慮のキホンを振り返る (40分)	白澤麻弓
	13:50 ～ 16:30	●見て学ぶ、触って知る「情報保障支援」 一日頃の支援から立ち止まって考える、導入と養成の ポイント ①補聴援助システムによる情報保障(20分) ②手書きノートテイクによる情報保障(20分) ③パソコンノートテイクによる情報保障(50分) (IPtalk、T-TACCaption、captiOnline) ④音声認識技術を活用した情報保障(50分) (UDトーク、VEUVO ほか) ⑤手話通訳による情報保障(20分) ※途中で休憩を10分間入れます	磯田恭子 中島亜紀子 萩原彩子 吉田未来 岡田雄佑

問い合わせ先 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 萩原

Tel/Fax 029-858-9438

E-mail t-tac@a.tsukuba-tech.ac.jp